学校番号	414

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　新編　数学 A　（数研出版）						
副教材等	改訂版　教科書傍用　3TRIAL　数学 I+A　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

．授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
．「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
．問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
．家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
．授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	集合	準備　集合	a：集合に関する基本的な概念を理解している。	定期考査 観察等		
	第１章　場合の数と確率	第１節　場合の数 １　集合の要素の個数 ２　場合の数 ３　順列 ４　組合せ	a: 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b: 事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c: 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

		第２節　確率 １　事象と確率 ２　確率の基本性質 ３　独立な試行と確率 ４　条件付き確率 ５　期待値	a：確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 b：確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c：事象を場合の数と確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
２学期	第３章　数学と人間の活動	１　約数と倍数 ２　素数と素因数分解 ３　最大公約数・最小公倍数 ４　整数の割り算 ５　ユークリッドの互除法 ６　１次不定方程式 ７　記数法	a：数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 b：数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 c：人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

3学期	第2章　図形の性質	第１節　平面図形 １　三角形の辺の比 ２　三角形の外心・内心・重心 ３　チェバの定理・メネラウスの定理 ４　円に内接する四角形 ５　円と直線 ６　２つの円 ７　作図	a：三角形や円に関する基本的な性質について理解している。 b：図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c：事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第２節　空間図形 １　直線と平面 ２　空間図形と多面体	a：空間図形に関する基本的な性質について理解している。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート		

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度